

※  欄を御記入ください。

「えたじまブランド」第2回認定申請書

江田島市地域ブランド推進協議会長 宛

申請要件等を確認の上、必要書類（応募方法に記載）を添えて次のとおり申請します。

2018年 月 日

(認定申請産品名)

--

(申請者)

業種		
(法人の場合) 名称	ふりがな	
(個人の場合) 氏名 (法人の場合) 代表者の職・氏名	ふりがな	
住所	郵便番号	
(法人の場合) 担当者の職・氏名	(職名)	
	(氏名)	
TEL	( )	-
FAX	( )	-
E-mail		
URL		
創業	年 月 日	
法人設立	年 月 日	
資本金		千円
従業員		人
加入組合、商工会、 商工会議所等		
事業内容		

※ 申請要件

申請をする産品は、次に掲げる要件のいずれにも適合していること。

① 原則として江田島市内に住所(法人その他団体にあつては主たる事務所の所在地)を有している事業者等により、江田島市内において、年間の生産高のおおむね2分の1以上が生産され、又は生産過程のうちおおむね2分の1以上の部分又は重要な部分が行われていること。

ただし、上記に該当しない場合であっても、江田島市の地域経済活性化と観光振興の観点から、「えたじまブランド」として認定することが適当と判断する場合があります。詳しくは、事務局（江田島市商工会）まで御相談ください。

② この認定を受けるために特別に生産されたものでないこと。

③ 他人の知的財産権を侵害していないこと。

1 申請製品の概要

(1) 品目	
(2) 希望小売価格 (税込)	円
[上記小売価格の 仕様] 記入例: 1箱8個入り	

(3) 申請製品の機能、内容、特長等をわかりやすく説明してください。
≪申請製品の受賞歴≫

(4) 申請製品の生産の現状（生産方法、原材料、生産地等）について説明してください。
生産方法:
原材料:
その他特記事項:
≪申請製品の生産量及び生産割合≫

区分		実績		見込		(単位)
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
		生産量 (割合)	生産量 (割合)	生産量 (割合)	生産量 (割合)	
生産地	江田島市内	(100%)	(100%)	(100%)	(100%)	(kg)
	県内・市外					
	県外					
合計		0 (100%)	0 (100%)	0 (100%)	0 (100%)	

※生産地が複数ある場合は、区分（江田島市内、県内・市外、県外）毎に記入してください。

(5) 申請製品の販売の現状（販路、販売場所、販売量等）について説明してください。

販路:(通販サイトも含めてご記入ください)

-----

販売場所:

-----

《申請製品の販売量・販売額》

区分	実 績		見 込		(単位)
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	
販売量					( )
販売額					( 千円 )

2 認定基準への適合性

(1) 基本理念への適合

認定申請製品が、本認定制度の基本理念「**素材や製法・技法、品質又はデザインへのこだわりがあり、他産地又は類似商品と比較して優位性がある。**」にどのように適合しているかを詳細かつ具体的に説明してください。（2項目とも必須）

《素材や製法・技法、品質又はデザインへのこだわり》

-----

《他産地又は類似商品と比較しての優位性》

(2) 認定要件への適合

以下のうち、**適合している要件**について詳細かつ具体的に説明してください。

番号	説明
<p>① 地域性： 江田島にちなんだ歴史、伝統、文化的背景又は物語性がある。</p>	
<p>② 技術性： 高い技術、伝統的な技術又は先進的な技術を用いている。</p>	
<p>③ 独自性：主体性 容易に模倣できない製法・技法又は他にはない商品特長がある。</p>	
<p>④ 信頼性： 常に一定の品質を有する商品が供給されており、安心して購入できる。</p>	<p>PL保険の加入 済・未定( 頃加入予定) 顧客苦情処理体制 有(担当者 )・無</p>
<p>≪各種検査の状況：具体的な検査の名称・時期等≫</p>	<p>HACCPの対応状況( )</p>
<p>⑤ 特産性：市場性 生産量が多く、広島の特産品としてある程度認知されている。</p>	
<p>⑥ 希少性： 市場に供給される量、時期又は場所が限定されており、希少価値がある。</p>	
<p>⑦ 将来性： ブランド化に対する継続した意志があり、長期的な事業計画が策定されている。</p>	

※枠に入りきれない場合は、随時、追加してご記入ください。